

三千名山（四千名山夢の途上）

出会いとは、不思議なもの。

四千名山との出会い

松山市在住の時、日本山岳会（以下 JAC と略す）関西支部の四国分水嶺山行に、山の会「やまゆき会」の JAC 会員より誘われて、毎月末近くの土・日の山行に時折参加。山歩き・三角点探しの妙に気づかされる。約一年間山歩きを共にして、平成 20 年 8 月に松山市を離れて、地元福島県に移動。その後四国分水嶺歩きの本が出来たので、徳島市での発表会の案内を戴き、山仲間に出会うことを楽しみに、夜行バス等を乗り継ぎ徳島市へ！

同年 11 月 24 日の発表会に参加。久しぶりの山仲間との再会に喜ぶとともに、自分が参加した山行記録等を見て悦に入る。その時に分厚い「新日本山岳誌」の本を割引で戴き、合わせて、その本の中の山名・標高を記した大きな日本地図・T シャツ等を分けて戴き、福島に戻る。

山歩きは、日本百名山、二百名山、三百名山を平成 14 年 7 月踏破し、その後は、山の仲間と月数回、山巡りをしていた。

分厚い本と日本地図を入手してから、本格的に四千名山（分厚い本には、北海道から沖縄まで約 3000 強の山が掲載され、その山の前後の山歩きを含めて 4000 山としている）の山歩きがスタート（初めは、平成 20 年 11 月 15 日（土）の福島北の「霊山」）。以後、休みの土日を中心に近場の福島県内から山歩きを始める。その後エリアを拡げて、宮城・山形・岩手・秋田・青森・新潟と自家用車で、宿泊（後部座席を倒して、フラットなスペースに寝袋で寝泊り。以後同じ山歩きスタイルで、日帰り・往復が基本の山歩きを続けている）しながら山巡り。

平成 21 年 11 月より、好意により「およね山好会」の掲示板への山行の書き込みを続けており、（書き込みをご了解戴き大感謝）令和 2 年 1 月 26 日現在 **3207** 山となっている。

最初は、身近な山を分県道路地図・各県の山の本等を頼りに山と登山口を探す。初めは、山を歩くことより、車の運転と登山口を見つけるのに、かなりの労力を割いて、慣れるに連れ山の特徴も目に留めるようになっていき、少し余裕が生まれるように。

何故そのような山歩きをするのと疑問に持たれる。その回答は今だ私にも正確にわからない。ただ未知の山に対する憧れ、探究心がもともとあった訳ではないが、道路地図に浮かぶ山と実際の山を眺めることで、ムクムクと好奇心が湧いてくる。これが、四千名山歩きの原点かとは思う！それ以外は、陣取りゲームでもするかのよう、道路地図・山地図を塗りつぶしてゆく面白さに取

り付かれて、毎週末、天候を気にしながら、泥沼にでもはまるように、山歩きに引きずり込まれていく。

福島に居た時は、毎年夏休みには、北海道シリーズと銘打ち、カーフェリーを利用し八戸から苦小牧に入り、広い道内を巡る。特に日高山系は、奥が深く、人気の「カムエク」近くの札内岳等沢歩きをして山入りするなどアプローチに苦労しダニに悩まされたが、笹等をかき分けて登った稜線・山頂から見る山並みは北海道の広さを満喫でき、同山系を踏破した時は、心底感動した。北海道は、北方四島、無人島、入山禁止や抽選に漏れた岨（キギシ）山ほか 26 山が、まだ未踏である。それ以外は北から東北、関東、甲信越、北陸、中部、近畿エリアまで、この三千名山の中で、既に踏破している。

特に印象深いのは、東北のブナの森の山々。世界遺産の白神山系（奥深く主に残雪期にアプローチ）、和賀山系、朝日・飯豊山系、奥只見などのある南会津のブナの森。春の残雪・新緑、夏の緑陰・沢、秋の紅葉・落葉は、心身に自然の豊かさを実感させてくれる。まさに、東北は、ブナの森と云っても過言ではない程に森が豊かだ。

また、苦労したのは、アプローチ（車でも）の長い、北海道、北・中央・南アルプス等と道のない蘆山（白神山系、北上山系、和賀山系、奥会津・新潟県境～上信越国境、飛騨・加賀・越前の県境の奥深い山々等）で、残雪期主体に、コツコツと、あの山、この山と一山つつ積み上げて行った。難山は『（北から「2017/5/3 道北の海別山」、「2014/7/7 日高の 1826 峰」、「2012/5/11 白神山系雁森山」、「2009/5/5 北奥州の五番森」、「2010/5/2 南会津の丸山岳」、「2011/5/4 奥只見の横山・猿倉山」、「2012/4/29 上越の越後沢山」、「2015/10/9 2度登りの 北アの硫黄岳、2015/7/11 北鎌の独標」、「2011/11/27 南アの合地山」、「2017/4/22 加賀の高三郎山」、「2014/5/10 同多子津山」、「2016/11/26 奥揖斐の若丸山」、「2016/4/30 同天狗山」、「2017/3/19 同千回沢山・不動山（渡渉中、川に流された）」、「2017/3/19 同笹ヶ峰」、「2017/3/18 同美濃俣丸」、「2016/7/30 同日照山』をクリアし、「伝説のハイカー編」等苦労して生み出し三千名山に至る。

動植物との遭遇（熊、カモシカ等）、ダニ・ヒル・蛇等との闘い、天候との折り合いを経てこの三千名山に至っており、その一端でも披露できればと「およね山好会掲示板」と「やまゆき会ホームページ」に綴っており、ここまで歩いてこられたのも、山の仲間・地域の方々に支えられてのことで、改めて深く感謝・お礼申し上げます。

体に少々「ガタ」が来ていますが、四千名山目予定の札幌近郊の「空沼」を目指し、微力ながら

邁進していきますので、今後とも暖かく見守りいただければ幸いです。

参考に伝説のハイカー編とここ12年の山歩きのデータファイルを添付します。

平成20年以降の山歩きデータ

年 度	新日本山岳誌	同左以外	総合計	山入り日数
平成20年(2008年)	22山	} 35山	} 378山	9日
平成21年(2009年)	132山			53日
平成22年(2010年)	189山			78日
平成23年(2011年)	158山	74山	232山	74日
平成24年(2012年)	222山	137山	359山	100日
平成25年(2013年)	231山	110山	341山	120日
平成26年(2014年)	161山	91山	252山	85日
平成27年(2015年)	128山	116山	244山	93日
平成28年(2016年)	187山	44山	231山	101日
平成29年(2017年)	141山	56山	197山	82日
平成30年(2018年)	174山	50山	224山	84日
令和元年(2019年)	257山	68山	325山	100日
合 計	2002山	781山	2783山	979日

平成28年4月15日～令和元年12月8日まで

山歩きに要した費用 (山歩き 879山 山入り338日)

総費用 420万円 1山当たり4900円 1日当たり12600円

(日本300名山時 5900円/山)